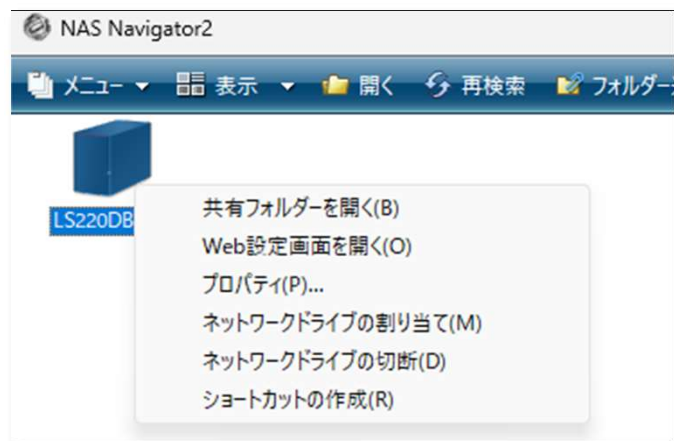


共有フォルダ作成とアクセス制限の設定

NAS Navigator2 から指定したNASを
右クリックで Web設定画面を開く



管理者ユーザー名
パスワード

ログインユーザー名/パスワードを入力

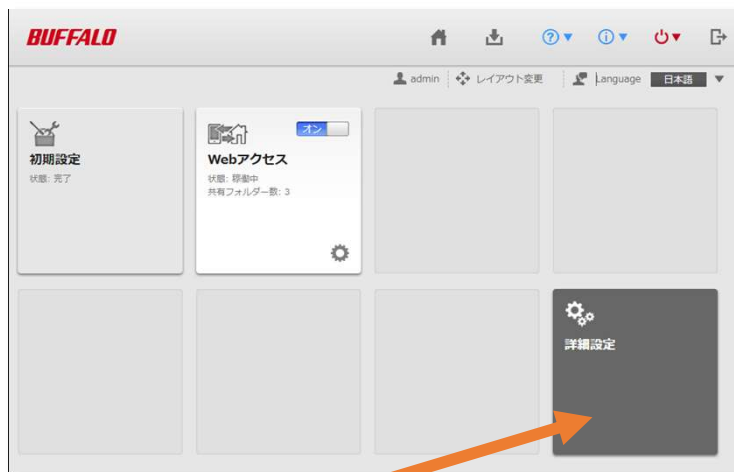
☐ 別ユーザー名でログインする

ユーザー名:

パスワード:

タイムアウト時間: ☒ 10分 ☐ 無制限

パスワードを入力すると下記設定画面が開く。



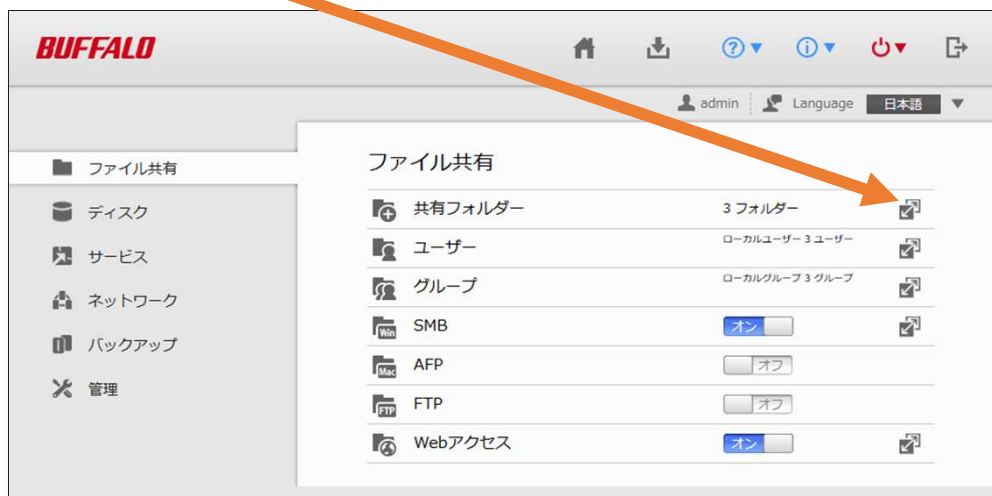
詳細設定 をクリック

- ユーザー登録とフォルダ作成
ユーザー名とパスワードを作り登録しておく
ユーザー名と同じフォルダを作っておく
作ったフォルダをユーザーのパソコンからログインしておく

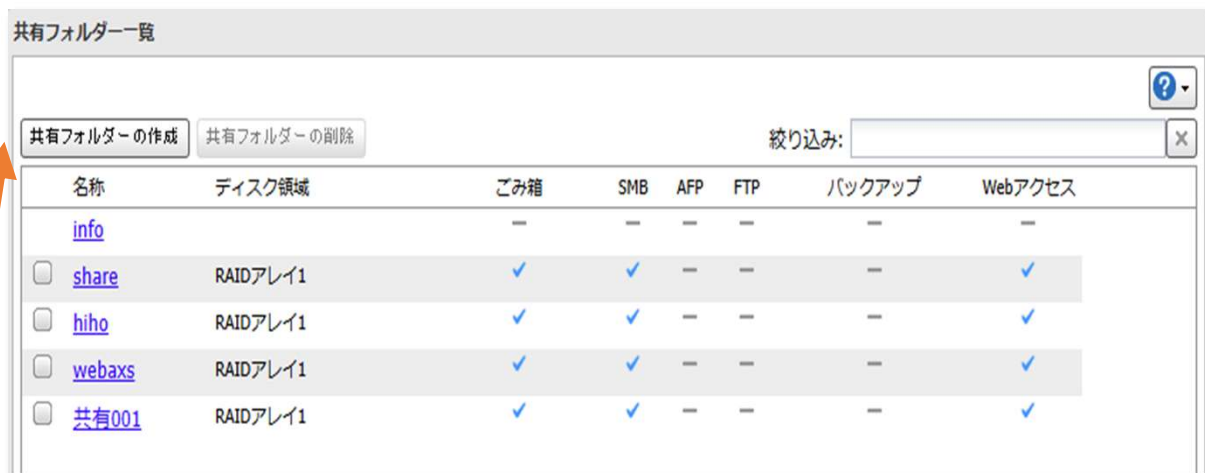
●共有フォルダーの管理

ユーザー登録及びフォルダー作成したときに、読み書きできる人の設定をする

共有フォルダーをクリック



作成した共有フォルダー一覧



共有フォルダーの作成
「共有001」を作成したところ



編集する場合、名称をクリックする

再編集画面

共有フォルダー設定：共有001

属性: ☐ 読取専用 ☒ 書込可能

ごみ箱: ☒ 有効にする ☐ 無効にする

公開プロトコル: ☒ SMB ☐ AFP
☐ FTP ☐ バックアップ ☒ Webアクセス

フォルダー属性: ☐ 隠し共有 (SMBのみ)

バックアップ公開パスワード:

Webアクセス公開モード: 共有フォルダー設定と同期 ▼

アクセス制限設定: ☒ 有効にする ☐ 無効にする

← ローカルユーザー ローカルグループ ドメインユーザー ドメイングループ 外部認証ユーザ →

絞り込み: X

ローカルユーザー名	W	R	
guest	☐	☐	☒
admin	☐	☐	☒
hiho	☐	☐	☒

公開プロトコルは: ☒ SMB, ☒ Web アクセス にチェック

webアクセス公開モード: 「共有フォルダー設定と同期」

アクセス制限: 無効にする

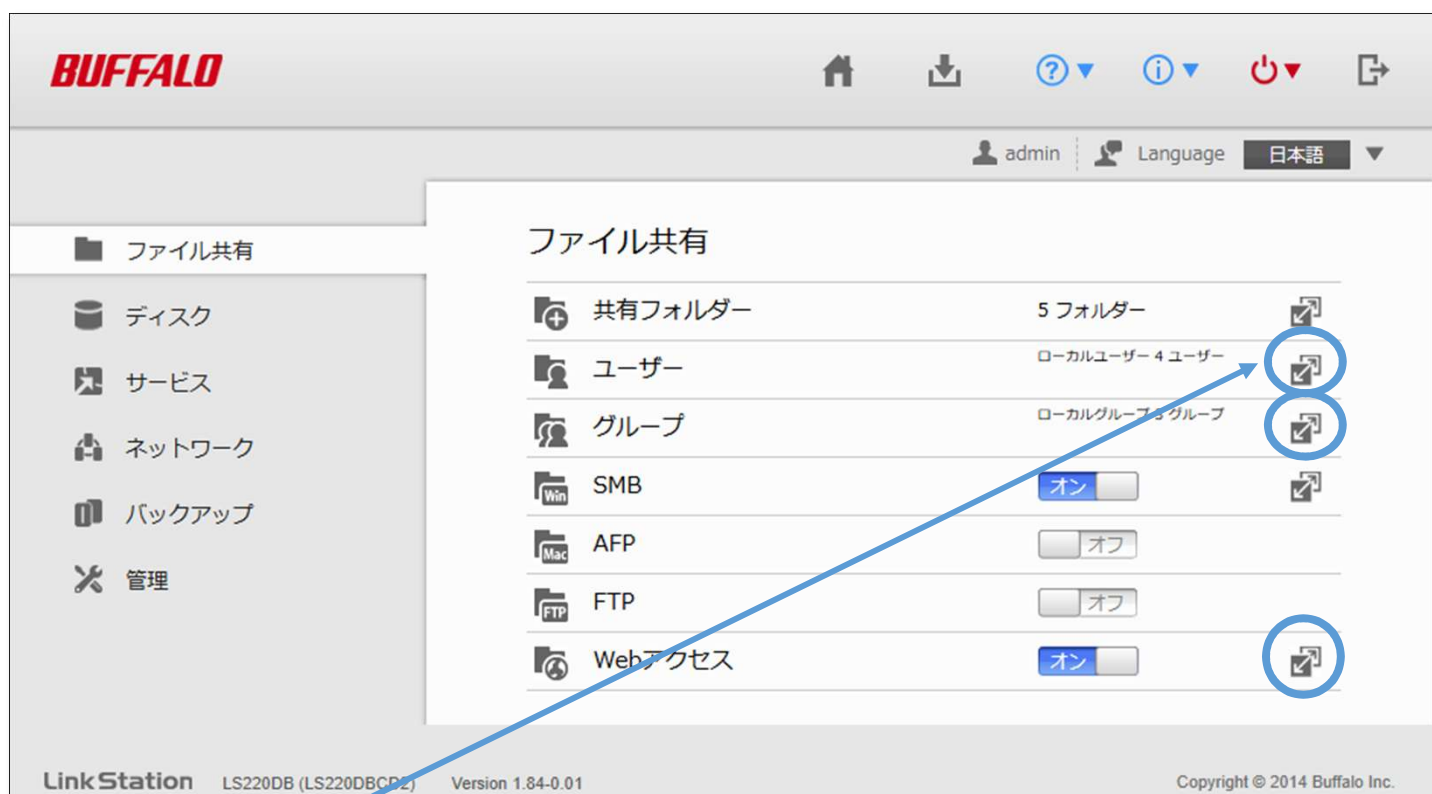
● アクセスをローカルユーザーのみにする場合

アクセス制限: 有効にする

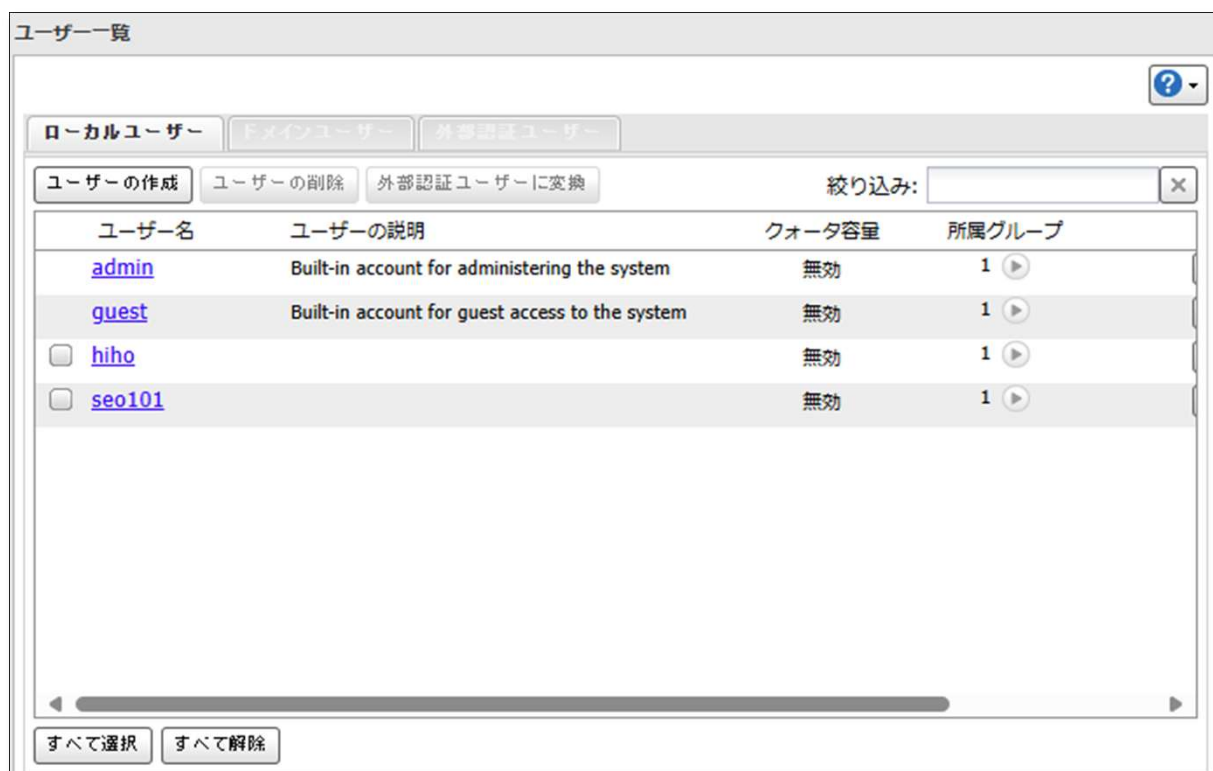
公開モードは「登録グループ／ユーザーのみ」を選択

読み書きできるユーザーをチェックする。

ユーザー / グループの 設定 / Webアクセス



○ ローカルユーザーを クリックして 一覧を表示 / ユーザーの作成ができる。



ユーザー情報 : hiho

ユーザー名:
hiho

ユーザーID:
1000

メールアドレス:
設定されていません。

ユーザーの説明:
設定されていません。

クォータ:
無効

所属グループ
hdusers

プライマリグループ:
hdusers

編集 閉じる

ユーザーのグループは基本 hdusers です。

ユーザの編集ができる。パスワードの設定もここで得行える。

ユーザー情報 : hiho

ユーザー名: *
hiho

ユーザーID:
※1000～1999までの数字を入力
1000

メールアドレス:

パスワード:
(※変更の場合のみ入力)

パスワード再入力:

ユーザーの説明:

クォータ:
☐ 有効にする (単位: GB)
クォータ容量: 1
☒ 無効にする

絞り込み: X ▲

所属グループ
☐ admin
☒ hdusers

すべて選択 すべて解除

プライマリグループ:
hdusers

OK キャンセル

ユーザーのグループは基本 hdusers です。

ユーザ名入力して、新たにパスワードを入力する。
ユーザ名ID は不要、所属グループは ☒ hdusers のままでOK。
クォータ:、無効にするでOK

Webアクセス を 開く

Webアクセス をクリック 編集画面

- BuffaloNAS.comネーム
- キーはランダム生成

Webアクセス設定

HTTPS/SSL暗号化: ☐ 有効にする ☒ 無効にする

BuffaloNAS.com登録機能: ☒ 有効にする

BuffaloNAS.comネーム *:

BuffaloNAS.comキー *: ランダム生成

☐ 無効にする

その他DNSサービスホスト名 *:

ルーター自動設定機能(UPnP): ☐ 有効にする ☒ 無効にする

ルーター外部ポート番号 *:

NAS内部ポート番号 *:

セッション排除: ☐ 有効にする ☒ 無効にする

セッション有効時間 *: 分 ☐ 無制限

* は必須項目です。

ローカル環境で使用する

OK キャンセル

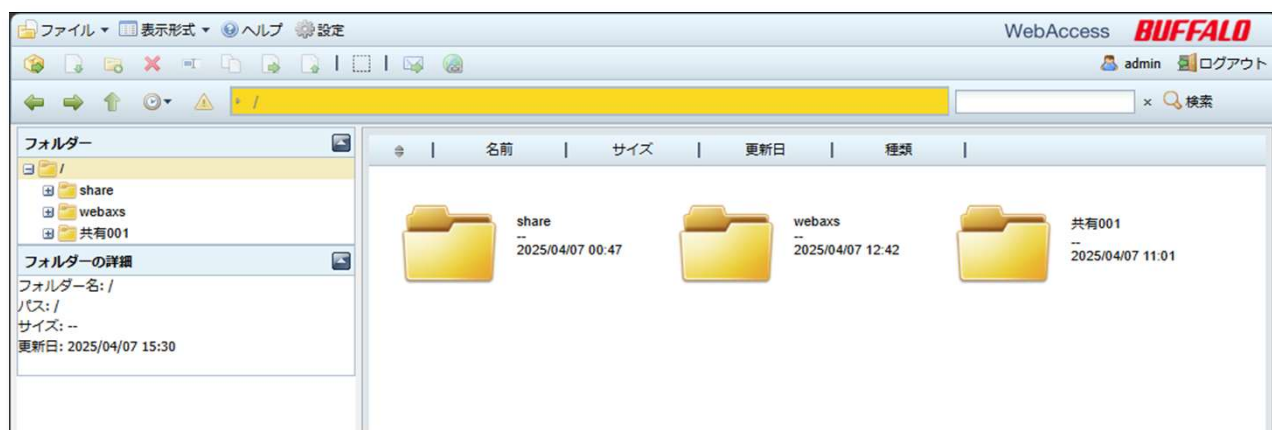
アクセス者1人または複数
人か、無効の場合同時利

共有の開きっぱなしで、

- UPnP機能は ルーターの性能による。一般的には有効で構わないが、ルーターのUPnPが聞かない場合無効にして、ルーターサイドでポートを設定する必要がある。

● Webアクセスを開く ⇒ <http://buffalonas.com/BufferoNAS.comネーム/>

● ログインは ユーザ名又は、管理者名とそれぞれのパスワードで開く



ローカルグループをクリックする

※ 特段編集は必要ない



グループの追加と各ユーザーのアクセス制限ができる。

		⇒	ユーザー
管理者	gest	⇒	gest
	admin	⇒	admin
ユーザー	hdusers	⇒	複数のユーザー

● NAS Navigation2 のフォルダー連結 ・ フォルダー同期について

連結 (ショートカットとしての働き)

PC内の殻のフォルダーとNAS内のフォルダーと連結すると、NASフォルダーのターゲットが反映される。普通にアクセスできるが、連結を切るとNASのフォルダー内のみ残っている。PC内はなくなる。

同期 (バックアップとして同期)

PC、NASどちらかのフォルダーを同期させるが、どちらを同期させるか指定する。同期される側のデータは消えてしまうので、どちらかの殻のフォルダーを指定する。同期を切ってもデータはとに残る。

● 連結 方法

パソコンに連結用のフォルダを作る。

ナビゲーションからそのフォルダと NASの連結先を指定する。

連結を有効にすると、連結先のデータがショートカットとしてパソコンのフォルダーが関連付けられる

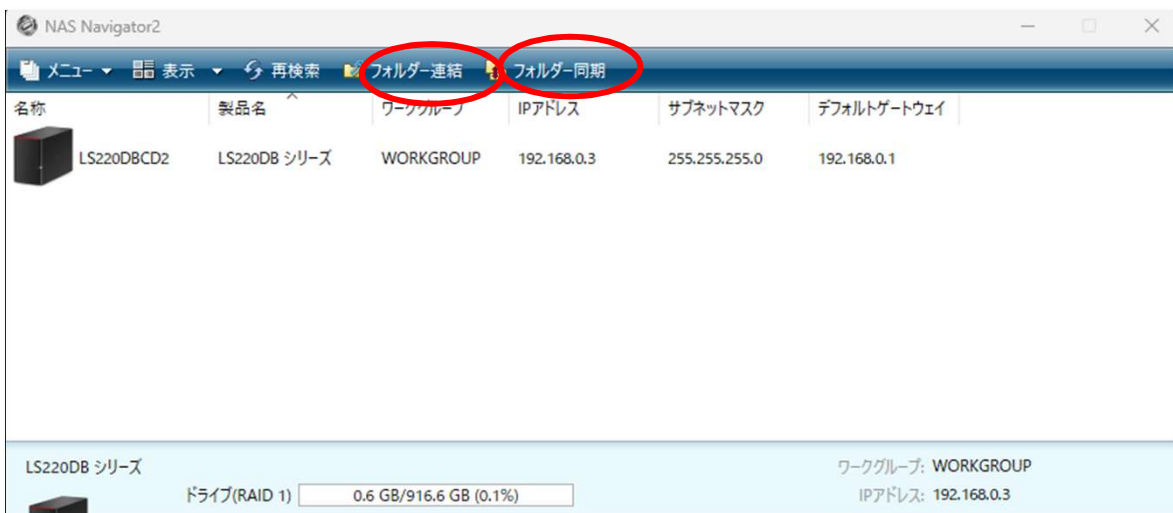
連結を無効にすると、パソコンのフォルダーは何も見れなくなる。

● 同期 方法

同期したいパソコンのフォルダがあれば、同期元にする。

NASの同期先のフォルダを決める。

同期を開始するとどちらのデータを同期させるか決定するが、同期先はデータが削除されるので注意する。



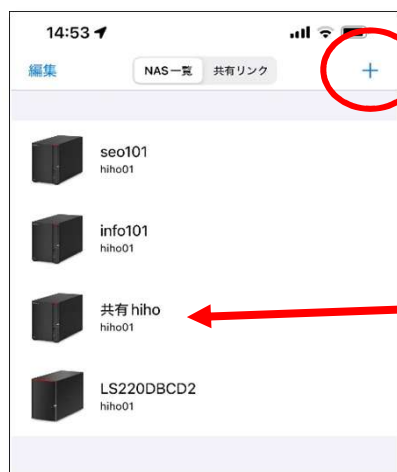
スマホのアプリからの展開

WebAccessi SP Navigator





Buffaloのマイファイルに保存されている。



NASのユーザーフォルダーを追加
いつでも開くことができる。



共有ネームなど

BuffaloNAS.comネーム

Userネーム

Userパスワード

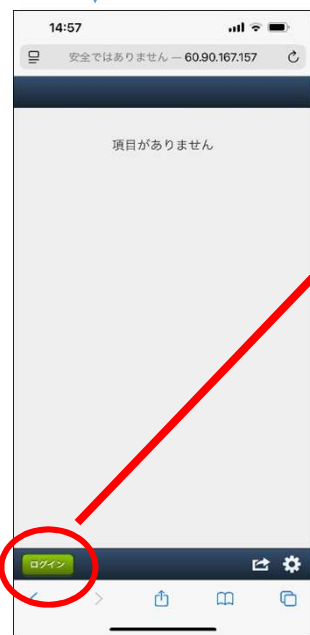
次回から自動ログイン



下記URL入力でWebで開く

<http://buffalonas.com/>

BuffalNAS.comネーム
で接続する。



ログイン

ユーザー名

パスワード



オプション機能



フル版を表示する。



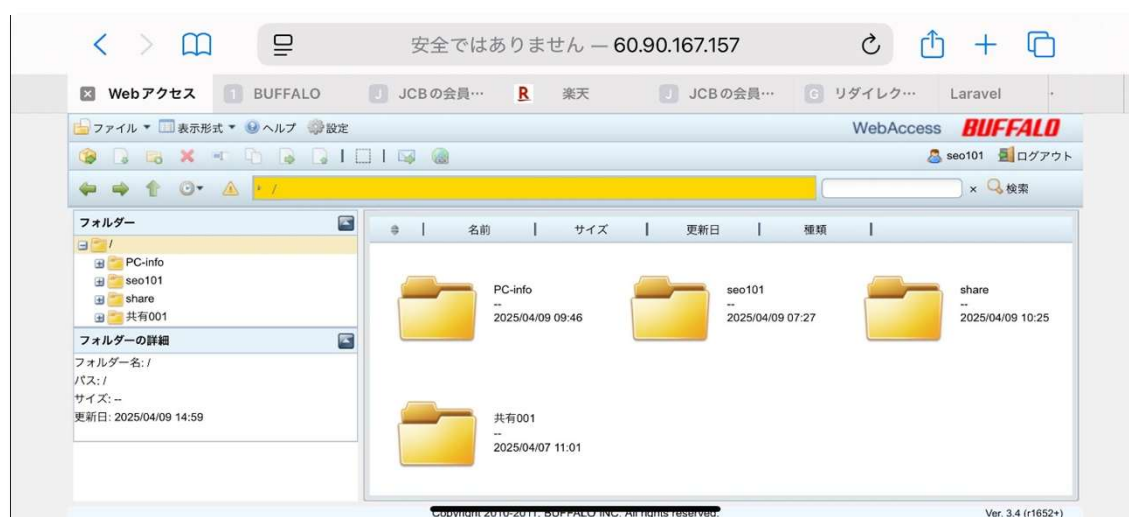
オプション機能



PCからWebアクセス <http://buffalonas.com/>



NASのあるローカル環境からは
IPアドレス >> 192.168.*.*:9000 で直接 ユーザーログインできる。



- 1 重複ルーターがないこと。
- 2 WiFiルーターに UPnP設定が利用できない場合
NASのハードウェアアドレスをルータのIPアドレス／DHCPサーバの設定でローカルIPアドレスを固定する。
続いて「ルーター機能の設定」→「ポート転送設定」からポート転送設定をする。
- 3 NASのWeb設定
BUFFALO NAS Navigation2 をインストールし実行する。
NASを確認

製品名	
ワークグループ	
IPアドレス	
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MACアドレス	
ファームウェアバージョン	

NASアイコンを右クリックでWEB設定画面を開く。

NAS ユーザー名	
パスワード	

WebアクセスをONにする。

Webアクセス情報編集	
Webアクセス	

HTTPS/SSL暗号化:	無効
BuffaloNAS.com登録機能:	有効
BuffaloNAS.comネーム:	
BuffaloNAS.comキー:	
その他DNSサービスホスト名:	
ルーター自動設定機能(UPnP):	有効 無効
ルーター外部ポート番号:	9000
NAS内部ポート番号:	9000
セッション排除:	無効
セッション有効時間:	30分
WebアクセスURL: http://buffalonas.com/ /	

共有フォルダ作成	ローカルユーザ					
	ローカルグループ					
	全PC共有					
個人ユーザー作成	ローカルユーザ					
	パスワード					

WiFi ルーター	ID	
	パスワード	